

授業科目名	社会福祉援助技術演習		担当教員名	入江 実
必修/選択	選択	開講学年・学期	1/2年 通年（年間開講数 1講座）	
科目区分	社会福祉主任任用資格に関する科目	単位数	4単位（60時間）	
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の概要及び全体目標	社会福祉実践を展開する上で必要とされる社会福祉援助技術の3領域（①直接援助技術、②間接援助技術、③関連援助技術）を教科書に沿って学習しますが、その際学生に課題設定をし、学生自らレポート等にまとめ発表する形式で学習する。			
到達目標	(1)習得した社会福祉援助技術の理論、技術を演習し、応用能力を向上させる。 (2)演習を通じて、具体的に人権の尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。 (1)習得した社会福祉援助技術の理論、技術を演習し、応用能力を向上させる。 (2)演習を通じて、具体的に人権の尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。			
テキスト	「改訂 新しいソーシャルワーク社会福祉援助技術入門」杉本敏夫、住友雄資著（中央法規）			
参考書・参考資料等	特に指定せず			
成績評価の方法	○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	演習の進め方			
第2回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定			
第3回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (1)インテークの内容（報告者）			
第4回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (2)アセスメント（社会調査）の内容（報告者）			
第5回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (3)プランニング（社会診断）の内容（報告者）			
第6回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (4)社会実践（報告者）			
第7回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (5)社会評価（報告者）			
第8回	新聞記事を教材とした学習			
第9回	3(1)生活保護演習の課題と事例①（実施責任、世帯認定、収入認定、最低生活費算出、困難事例）			
第10回	3(1)生活保護演習の課題と事例②（実施責任、世帯認定、収入認定、最低生活費算出、困難事例）			
第11回	3(2)障がい者福祉演習の課題と事例①（障害者の問題の把握、社会資源活用事例）			
第12回	3(2)障がい者福祉演習の課題と事例②（障害者の問題の把握、社会資源活用事例）			
第13回	3(3)児童福祉演習の課題と事例①（要保護児童の発見と問題の把握、児童虐待事例）			
第14回	3(3)児童福祉演習の課題と事例②（要保護児童の発見と問題の把握、児童虐待事例）			
第15回	中間まとめ			
定期試験	筆記試験			
第16回	2.基本的なコミュニケーションをとるために必要な対応・意識を学習する（バイステックの原則）			
第17回	2.(1)個別化の原理（報告者）			

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第18回	2.(2)統制された情緒的関与（報告者）	
第19回	2.(3)意図的な感情表出（報告者）	
第20回	2.(4)受容（報告者）	
第21回	2.(5)非審判的態度（報告者）	
第22回	2.(6)自己決定（報告者）	
第23回	2.(7)秘密保持（報告者）	
第24回	3.(4)老人福祉演習の課題と事例①（要援護老人の発見と問題の把握、老人虐待事例）	
第25回	3.(4)老人福祉演習の課題と事例②（要援護老人の発見と問題の把握、老人虐待事例）	
第26回	3.(5)家庭福祉演習の課題と事例①（要支援過程及び女性の発見と問題の把握、家庭内暴力事例）	
第27回	3.(5)家庭福祉演習の課題と事例②（要支援過程及び女性の発見と問題の把握、家庭内暴力事例）	
第28回	3.(6)地域福祉演習の課題と事例①（地域における福祉ニーズ調査・地域福祉計画の策定）	
第29回	3.(6)地域福祉演習の課題と事例②（地域における福祉ニーズ調査・地域福祉計画の策定）	
第30回	全体のまとめ	
定期試験	筆記試験	